

### ～ 対面開催、学部生3年生を中心に45名参加 ～ 『技術士を知ろう！ in 北見工業大学』

#### 1. はじめに

『技術士を知ろう！』は、主に大学、高専、工業高校などの高等教育機関の理工学系教育現場を対象に実施している出前講座です。学校の授業や資格の重要性を説明し土木に関心を持ってもらうとともに、就職後のキャリアプランのイメージを持ってもらうことを目的としています。また、講演内容をより身近に感じてもらうため、講演者にはOB・OGを含め、青年技術士交流委員会(青技交)と連携し若い世代の講演者を選定して実施しています。

今回は2019年から講演を行っている北見工業大学での開催で、今年度最後の活動となります。

#### 2. 実施概要

開催日時：令和4年12月21日(水)16:30～18:00

対象者：学部生3年生(2・4年生を若干名含む)

講演内容：

①技術士資格の説明～小澤正志(ミライ研代表)

②技術士の仕事紹介～千葉裕(ミライ研幹事長)

③OGによる仕事紹介

～仁義水緒(青技交幹事)北見工大OG

④社会環境工学の仕事全般[オンライン]

～木本光則(ミライ研幹事)

当日スタッフ：塩見武(ミライ研幹事)北見工大OB

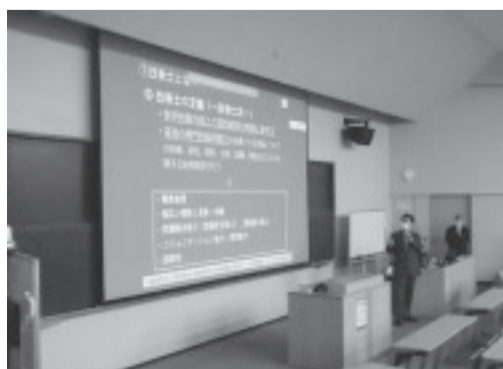


〈会場全体の様子〉

#### 3. 講演内容

##### (1)技術士資格の説明

小澤技術士(北電総合設計(株))からはイントロダクションとして、建設業界での行政・建設コンサルタント・ゼネコンの役割とそれぞれに必要な資格について説明がありました。特に「技術士」については、定義や制度、活動分野、取得した際のメリットなどを自身の経験を踏まえて詳細かつわかりやすく講演しました。今回に限らず、資格取得にともなう給与や手当、昇進に関する学生の関心は高く、今回も「今日の講演で一番勉強になったことはなにか」というアンケート結果では、技術士取得のメリットを挙げる学生が多かったことから、小澤技術士による説明は印象に残ったと思います。



〈講演する小澤技術士〉

##### (2)技術士の仕事紹介

千葉技術士((株)北海道水工コンサルタンツ)からは、建設コンサルタントでの「河川」に関する仕事内容について講演するとともに、自身の経験を踏まえた学生時代の過ごし方、社会人になってからの心構えなどについて講演しました。

学生からは「治水・利水・環境の3つのバランスを上手く調整するコツは?」「河川計画における行政

の役割は?」「利水を優先的に考えた河川はどのような構造となるのか」など、さらに具体的な説明を求める質問が多く、また「飽きずに聞けた」「もっと聞きたかった」という声もあり、千葉技術士の講演は学生にとってわかりやすく、興味深い内容だったと思います。



〈講演する千葉技術士〉

### (3) OG による仕事紹介

仁義技術士補(清水建設(株))は、自身の現場経験から、施工方法を工夫することで難しい現場条件を克服し、工程を短縮した事例を紹介しました。「完成形は決まっているがそのプロセスは様々。技術、経験、アイデアを持ち寄って議論し最善の施工方法を見つけ出すことにやりがいと達成感を感じる」とゼネコンの魅力を語るとともに、女性技術者としての働き方などを講演しました。

テレビCMなどで知名度の高い大手ゼネコンに所属し、若手女性技術者として第一線で働くOGの講演とあって、真剣に聴講する学生の姿が印象的でした。講演後の質疑では技術的な質問に加え、「履歴書・ES・面接などで気を付けるべき点や準備した方がよいことはなにか」「今役立ったと思う大学時代



〈質疑に対応する仁義技術士補〉

の経験はなにか」「女性でゼネコンに就職することに対して不安はなかったか」など、就職活動のアドバイスを求める質問が多く寄せられ、関心の高さを感じ取ることができました。

### (4) 社会環境工学の仕事全般

木本技術士((株)ドーコン)からは、「社会環境工学のいま、みんなのミライ～就職後の自分を想像しよう～」と題して、千葉技術士・仁義技術士補の二人では紹介しきれなかった土木全般の仕事について紹介しました。道路、河川、農業、地質、環境保全、防災・維持管理、市街地再開発など、さまざまな仕事について具体的事例を含めた説明があり、これから進路を考える学生にとっては非常に参考になったのではないかと思います。



〈オンラインで講演する木本技術士〉

## 4. おわりに

今回の講演者はいずれも複数回の講演をこなしている経験豊富な講演者であり、学生にもわかりやすく内容が伝わったのではないかと思います。

学生へのアンケート結果では、「講演の満足度」について、5段階評価で平均4.4と高評価であり、おおむね成功だったと考えています。

一方で「説明が速い所があったためスライドを配布してほしかった」「最後が駆け足でもう少し聞いてみたかった」などの意見もあり、次回はもっと学生の満足度を高められるよう工夫を重ねていきたいと思っています。

最後に、中村先生には、お忙しいところ開催に際して多大なご協力いただき、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。